

第 61 回 中部日本生理学会 プログラム

11月7日 (金)		11月8日 (土)	
8:55-9:00	開会挨拶		
9:00-10:15	セッション1 0-01~05 座長：吉田 祥子 飛田 秀樹	9:00-10:00	セッション8 0-29~32 座長：浦野 哲盟
休憩		休憩	
10:25-11:40	セッション2 0-06~09 座長：伊佐 正	10:10-11:10	セッション9 0-33~36 座長：恵良 聖一 佐藤 元彦
休憩		休憩	
11:45-12:15	セッション3 0-10~11 座長：久場 博司	11:20-12:20	セッション10 0-37~40 座長：福田 敦夫
12:20-12:50	ランチョンセミナー (株)インターメディカル	12:20-13:10	昼食 (お弁当を用意します)
13:10-14:10	セッション4 0-12~15 座長：池中 一裕	13:10-14:10	セッション11 0-41~44 座長：岩瀬 敏
休憩		休憩	
14:20-15:20	セッション5 0-16~19 座長：西条 寿夫	14:20-15:20	セッション12 0-45~48 座長：松岡 達
休憩		休憩	
15:30-16:30	セッション6 0-20~23 座長：水村 和枝	15:30-16:45	セッション13 0-49~53 座長：酒井 秀紀 山本 喜通
休憩		16:45-16:50	閉会挨拶
16:40-17:55	セッション7 0-24~28 座長：増淵 悟 橋谷 光	テニス大会 (13:30-17:30) 同時開催 場所：名市大 滝子キャンパス (テニスコート)	
18:00-18:30	総 会		
移動 (地下鉄)			
19:00-20:50	懇 親 会		

大会1日目 11月7日(金)

8:55-9:00 開会挨拶

9:00-10:15 セッション1 (O1~O5)

座長：吉田祥子（豊橋技術科学大学環境生命工学系）

飛田秀樹（名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経生理学）

9:00	O1	ホスホン酸誘導体によるガラス表面改質に伴う酵素担持量の変化 ○高橋信人 1, 渡邊一徳 1, 穂積直裕 2, 吉田祥子 1 1、豊橋技術科学大学環境生命工学系 2、豊橋技術科学大学電気電子情報工学系
9:15	O2	胎生期 HDAC 阻害剤曝露による発達期小脳皮質での伝達物質放出変化と行動観察 ○中嶋さりい 1, 勝股大樹 1, 笛田由紀子 2、上野晋 2、関野祐子 3、吉田祥子 1 1、豊橋技術科学大学環境生命工学系 2、産業医科大学 3、国立医薬品食品研究所
9:30	O3	胎生期バルプロ酸投与動物由来の培養グリア細胞の発達変化 ○富田達朗 1, 山田ひかり 1, 笛田由紀子 2、上野晋 2、関野祐子 3、吉田祥子 1 1、豊橋技術科学大学環境生命工学系 2、産業医科大学 3、国立医薬品食品研究所
9:45	O4	ジクロフェナックがアストロサイトとミクログリアの iNOS/NO_x 産生および活性化に及ぼす影響 ○垣田博樹 ¹⁾²⁾ 青山峰芳 ¹⁾ 浅井清文 ¹⁾ 1.名古屋市立大学大学院医学研究科 分子神経生物学分野 2.名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児小児医学分野
10:00	O5	GAD67-GFP knockin マウスを用いた CRH ニューロン制御における GABA の役割についての検討 ○柿沢 圭亮 1,2、渡部 美穂 2、柳川 右千夫 3、沖 隆 4、福田 敦夫 2 1、浜松医科大学第二内科 2、浜松医科大学神経生理学講座 3、群馬大学大学院医学系研究科遺伝発達行動学分野 4、浜松医科大学地域家庭医療学

10:15-10:25 休憩

大会1日目 11月7日(金)

10:25-11:25 セッション2 (O6~O9)

座長：伊佐 正 (生理学研究所・認知行動発達機構研究部門)

10:25	O6	スナネズミ網膜発達過程の神経節細胞におけるヒスタミンの免疫組織化学 ○今田英己 ¹ 、酒井一由 ² 、山崎将生 ² 、宮地栄一 ³ 東海学院大学 健康福祉学部 管理栄養学科 ¹ 、 藤田保健衛生大学 医療科学部臨床工学科 ² 、 藤田保健衛生大学 医学部生理学 ³
10:40	O7	2光子カルシウムイメージングによる上丘浅層における側方抑制機構の解明 ○笠井昌俊 ¹ 、伊佐正 ^{1,2} 1, 生理学研究所・認知行動発達機構研究部門 2, 総合研究大学院大学・生命科学研究所・生理科学専攻
10:55	O8	大脳皮質高次視覚領野における奥行き運動情報(Motion-in-depth)の符号化 ○眞田 尚久 ¹ 、Gregory C. DeAngelis ² 1.自然科学研究機構 生理学研究所 感覚認知情報研究部門, 2. Center for Visual Science, University of Rochester
11:10	O9	均衡する視覚運動制御の再帰的連環が二人の体動を同期させる ○岡崎 俊太郎 ¹ 、小池 耕彦 ¹ 、廣谷 昌子 ² 、Jorge Bosch-Bayard ³ 、 高橋 陽香 ⁴ 、橋口 真帆 ⁴ 、定藤 規弘 ^{1,4} 1.生理学研究所・心理生理学研究部門 2.School of Linguistics and Language Studies, and Institute of Cognitive Science, Carleton University 3.Cuban Neuroscience Center 4. 総合研究大学院大学・生命科学研究所

11:25-11:35 休憩

大会1日目 11月7日(金)

11:35-12:05 セッション3 (O10~O11)

座長：久場博司（名古屋大学大学院医学系研究科・細胞生理学）

11:35	O10	軸索起始部における入力依存的な K チャネルの発現変化 ○久場 博司, 山田 玲, 石黒 剛 名古屋大学大学院医学系研究科・細胞生理学
11:50	O11	入力周波数に応じた樹状突起形態変化の聴覚同時検出における意義 ○山田 玲 1、久場 博司 1 1 名古屋大学・医学系研究科・細胞生理学

12:10-12:40 ランチョンセミナー (株)インターメディカル

大会1日目 11月7日(金)

13:10-14:10 セッション4 (O12~O15)

座長：池中一裕 (生理学研究所・分子神経生理)

13:10	O12	リポポリサッカライド誘発性脳炎における Plexin-A1 の役割 ○伊藤卓治、吉田謙二、根岸隆之、湯川和典 名城大学・薬学部・生理
13:25	O13	リポポリサッカライドは紫外線照射による BV-2 細胞のアポトーシスを抑制する ○金子葉子、中島昭、長崎弘、小谷侑、太田明 藤田保健衛生大学・医学部・生理学 I
13:40	O14	Cathepsin C and Cystatin F gene interaction during demyelination ○Jiayi Lih ^{1,2} , Wilaiwan Wisessmith ^{1,2} , Takahiro Shimizu ² , Kenji Tanaka ² , Yoshitaka Kimori ³ , Kazuhiro Ikenaka ² 1 Graduate University for Advanced Studies, School of Life Science, Department of Physiological Sciences, Okazaki City, Japan 2 National Institute for Physiological Sciences, Division of Neurobiology and Bioinformatics 3 National Institutes of Natural Sciences, Center for Novel Science Initiatives, Imaging Science Division
13:55	O15	ミエリン-軸索間相互作用に依存して発現変化するニューロン遺伝子の同定 ○國澤和生 ^{1,2} 、清水健史 ² 、長内康幸 ^{1,2} 、小林憲太 ³ 、Manzoor A. Bhat ⁴ 、池中一裕 ^{1,2} 1、総合研究大学院大学・生命科学 2、生理学研究所・分子神経生理 3、生理学研究所・ウイルスベクター開発室 4、University of Texas Health Science Center・Department of Physiology

14:10-14:20 休憩

大会1日目 11月7日(金)

14:20-15:20 セッション5 (O16~O19)

座長：西条寿夫（富山大学大学院医学薬学研究部システム情動科学）

14:20	O16	サル海馬脳波の睡眠による変化 ○田村 了以 ¹ 、西田 悠 ² 、永福 智志 ³ 1 富山大学大学院医学薬学研究部（医学）統合神経科学 2 富山大学大学院医学薬学研究部（医学）耳鼻咽喉科頭頸部外科学 3 福島県立医科大学・医学部・システム神経科学
14:35	O17	Decreased fear-related evoked potential in rat's amygdala during social buffering. ○ Fuzzo Felipe ¹ , Jumpei Matsumoto ¹ , Yasushi Kiyokawa ² , Yuji Mori ² , Taketoshi Ono ¹ , Hisao Nishijo ¹ . ¹ System Emotional Science, University of Toyama, ² Laboratory of Veterinary Ethology, University of Tokyo
14:50	O18	脊髄損傷からの回復過程において側坐核は運動関連皮質を活性化する ○澤田真寛*1*2 加藤健治*1*4 尾上浩隆*3 伊佐正*1*4 西村幸男*1*4*5 *1 生理学研究所認知行動発達機構研究部門 *2 京都大学医学部脳神経外科 *3 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター *4 総合研究大学院大学 *5 JST-PRESTO,
15:05	O19	聞き手の肯定的反応が話し手にもたらす報酬効果の神経基盤の解明 ○角谷 基文 ^{1,2} 、小池 耕彦 ² 、岡崎 俊太郎 ² 、定藤 規弘 ^{1,2} 1) 総合研究大学院大学生命科学研究科、 2)生理学研究所心理生理学部門

15:20-15:30 休憩

大会1日目 11月7日(金)

15:30-16:30 セッション6 (O20~O23)

座長：水村和枝（中部大学生命健康科学部理学療法学科）

15:30	O20	筋機械痛覚過敏を惹起する伸張性収縮の機械的因子 ○林功栄 1、阿部真博 2、山中章弘 1、水村和枝 3、田口徹 1 1 名古屋大学環境医学研究所神経系分野 II 2 ビタカイン製薬株式会社学術部 3 中部大学生命健康科学部理学療法学科
15:45	O21	マウス末梢性痒み感覚へのリゾフォスファチジン酸による TRPA1 および TRPV1 活性化の関与 ○橋高 裕貴 1,2、内田 邦敏 1,2、福田 直美 2、齋藤 くれあ 2、富永 真琴 1,2 1、総合研究大学院大学・生命科学研究科・生理科学専攻 2、岡崎統合バイオサイエンスセンター・細胞生理研究部門
16:00	O22	慢性広範痛症の末梢神経・脊髄機構 ○若月 康次 1、片野坂 公明 2、安井 正佐也 4、林 功栄 1、山下 麻衣 1、木山 博資 4、山中 章弘 1、水村 和枝 3、田口 徹 1 1、名古屋大学・環境医学研究所・神経系分野 II 2、中部大学・生命健康科学部・生命医科学科 3、中部大学・生命健康科学部・理学療法学科 4、名古屋大学・大学院医学系研究科・機能組織学分野
16:15	O23	ミラーイメージペイン発症における一次体性感覚野の役割 ○石川 達也 1、石橋 仁 3、鍋倉 淳一 1,2 1・生理学研究所・生体恒常機能発達機構研究部門 2・総合研究大学院大学・生理科学専攻 3・北里大学・医療衛生学部・生理学研究室

16:30-16:40 休憩

大会1日目 11月7日(金)

16:40-17:55 セッション7 (O24~O28)

座長：増淵 悟 (愛知医科大学・医学部・生理学 (旧生理学第一))

橋谷 光 (名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生理学分野)

16:40	O24	モルモット肝静脈収縮の細胞内機構の検討 ○高野博充、橋谷光 名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生理学分野
16:55	O25	スナクス食道平滑筋運動におけるセロトニンの関与 ○椎名貴彦、内藤清惟、中森裕之、志水泰武 岐阜大学 大学院 連合獣医学研究科 獣医生理学研究室
17:10	O26	ラット子宮オキシトシンレセプターのエストロゲンによる調節 ○村田 拓也、成田 和巳、市丸 徹、松岡 達 福井大学・医学部・統合生理学
17:25	O27	日中の高照度光暴露がヒトの末梢の時計遺伝子発現に与える影響 ○佐藤麻紀 ¹⁾ 、若村智子 ²⁾ 、森田健 ³⁾ 、岡本暁彦 ⁴⁾ 、明石真 ⁴⁾ 、松井卓哉 ¹⁾ 、佐藤元彦 ¹⁾ ¹ 愛知医科大学医学部生理学講座 ² 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻 ³ 福岡女子大学人間環境学部生活環境学科 ⁴ 山口大学時間学研究所
17:40	O28	低酸素は癌細胞時計の位相を変える ○増淵 悟 ¹⁾ 、八木田 和弘 ²⁾ 、中村 渉 ³⁾ 、本間 さと ⁴⁾ 、本間 研一 ⁴⁾ 1. 愛知医科大学・医学部・生理学 (旧生理学第一) 2. 京都府立医科大学・大学院医学研究科・統合生理学 3. 大阪大学・大学院歯学研究科・口腔時間生物学 4. 北海道大学・大学院医学研究科・時間医学

総会 (18:00-18:30)

懇親会 (19:00-20:50)

大会2日目 11月8日(土)

9:00-10:00 セッション8 (O29~O32)

座長：浦野哲盟 (浜松医科大学医生理学)

9:00	O29	<p>ミカン科植物 <i>Clausena lansium</i> から精製した SB-204900 が rat basophilic leukemia cells (RBL-2H3) に対する薬理効果</p> <p>○松井卓哉 1, 井藤千裕 2, 糸魚川政孝 3, 塩野裕之 1, 清水祐樹 1, 増渕悟 1</p> <p>1 愛知医科大学・医学部・生理学, 2 名城大学・薬学部・薬化学, 3 東海学園大学・スポーツ健康科学部</p>
9:15	O30	<p>新たに開発した密度勾配連続細胞分離装置による希少細胞の分離</p> <p>○塩野裕之 1, 松井卓哉 1, 清水祐樹 1, 増渕悟 1, 伊東洋一郎 2</p> <p>1、愛知医科大学・医学部・生理学 2、Lab of Bioseparation Technology, Biochemistry and Biophysics Center, NIH, USA</p>
9:30	O31	<p>Endogenously Generated Plasmin at the Vascular Wall Injury Site Amplifies Lysine Binding Site-Dependent Plasminogen Accumulation in Microthrombi</p> <p>○Brzoska Tomasz 1, Tanaka-Murakami Aki 1,2, Suzuki Yuko 1, Sano Hideto 1, Kanayama Naohiro 2, Urano Tetsumei 1</p> <p>1. Department of Medical Physiology, Hamamatsu University School of Medicine 2. Department of Gynecology, Hamamatsu University School of Medicine</p>
9:45	O32	<p>市販ヒト血清アルブミン製品の分子不均一性に関する研究</p> <p>○南 武志 1,2, 寺田知新 1, 高橋哲平 1, 有川 一 1, 松山幸枝 1, 恵良聖一 1</p> <p>1. 岐阜大学大学院・医学系研究科・分子生理学分野 2. 岐阜医療科学大学・保健科学部・臨床検査学科</p>

10:00-10:10 休憩

大会2日目 11月8日(土)

10:10-11:10 セッション9 (O33~O36)

座長：恵良聖一（岐阜大学大学院・医学系研究科・分子生理学分野）

佐藤元彦（愛知医科大学 医学部 生理学講座）

10:10	O33	クラス II 型 PI3 キナーゼ-C2α による TGFβ 血管内皮作用の調節機構 安藝 翔 1、○吉岡 和晃 1、多久和 典子 1,2、岡本 安雄 1、多久和 陽 1 1、金沢大学・医薬保健研究域医学系・血管分子生理 2、石川県立看護大学・看護学科・健康科学
10:25	O34	血管新生における G 蛋白活性調節因子の役割 ○林寿来 Mamun Abudulla Al 佐喜真未帆 鈴木洋子 西村直記 犬飼洋子 岩瀬敏 佐藤元彦 愛知医科大学 医学部 生理学講座
10:40	O35	流れ刺激による肺での新しい炭酸ガス産生機構について ○河合 佳子 1、大橋 俊夫 2 1、信州大学・医学部・器官制御生理学 2、信州大学・医学部・メディカル・ヘルスイノベーション
10:55	O36	継続的な発声を伴う剣道実施は、実施者の呼気二酸化炭素排出を抑制する ○有川 一 1,2、寺田知新 1、高橋哲平 1、木崎一葉 3、今井 一 4、 恵良聖一 1 1. 岐阜大学大学院・医学系研究科・分子生理学分野 2. 中部学院大学短期大学部・幼児教育学科 3. 黒部市民病院・整形外科 4. 岐阜大学・教育学部・保健体育講座

11:10-11:20 休憩

大会2日目 11月8日(土)

11:20-12:20 セッション10 (O37~O40)

座長：福田敦夫（浜松医科大学医学部神経生理学講座）

11:20	O37	オレキシン神経特異的な活動操作・細胞死誘導による、摂食・代謝調節機構の解析 ○犬束 歩 ¹ 、乾 あずさ ¹ 、田淵 紗和子 ¹ 、常松 友美 ¹ 、Michael Lazarus ² 、山中 章弘 ¹ 1. 名古屋大学 環境医学研究所 2. 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
11:35	O38	ラット視床下部腹内側核に投与したオキシトシンにより誘発される走行運動 ○成田 和巳、村田 拓也、松岡 達 福井大学・医学部・統合生理学
11:50	O39	神経障害性疼痛下における前帯状回アストロサイトの活性化が睡眠障害に関与する 山下 哲 ^{1,2} 、成田道子 ² 、葛巻直子 ² 、山中章弘 ¹ 、成田 年 ² 1 名古屋大学・環境医学研究所・神経 ² 2 星薬科大学・薬学部・薬理
12:05	O40	遺伝子改変によるマウス胚性幹細胞由来パゾプレシン細胞の蛍光標識 ○長崎 弘、小谷 侑、須賀英隆 ¹ 、山本直樹 ² 、金子葉子、中島 昭、太田 明 藤田保健衛生大学医学部生理学講座I、 1: 名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌学、 2: 藤田保健衛生大学共同利用研究施設

12:20-13:10 昼食

大会2日目 11月8日(土)

13:30-17:30 テニス大会(同時開催)
名市大 滝子キャンパス テニスコート

13:10-14:10 セッション11 (O41~O44)

座長: 岩瀬 敏(愛知医科大学・医学部・生理)

13:10	O41	マウス骨格筋における緑茶エピガロカテキンガレートによる糖取り込み増強作用 ○小原一男、石川智久 静岡県立大学大学院・薬学研究院・薬理
13:25	O42	食事誘導性熱産生に及ぼすUCP1と骨格筋AMPKの調節作用 ○高木 一代 1,2、箕越 靖彦 1,2 1、総合研究大学院大学 生命科学研究科 2、生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門
13:40	O43	頸椎椎間板ヘルニアによる脊髄障害が原因と考えられた顔面半側発汗障害の病態生理～頸髄内発汗系交感神経下行路の解明への応用 ○犬飼 洋子、岩瀬 敏、西村 直記、清水 祐樹、佐藤 麻紀、鬼塚 知里、菅屋 潤壺、佐藤 元彦 愛知医科大学・医学部・生理
13:55	O44	Role of sympathetic nerve activity in the process of fainting Satoshi Iwase, Naoki Nishimura, and Tadaaki Mano* Department of Physiology, School of Medicine, Aichi Medical University Gifu University of Medical Sciences

14:10-14:20 休憩

大会2日目 11月8日(土)

13:30-17:30 テニス大会(同時開催)
名市大 滝子キャンパス テニスコート

14:20-15:20 セッション12 (O45~O48)

座長: 松岡 達 (福井大学医学部・統合生理学)

14:20	O45	心筋における異常自動能の発生機序: ヒト心室筋細胞モデルを用いた非線形力学的解析 ○倉田康孝、谷田 守、九田裕一、芝本利重 金沢医科大学・医学部・生理学II
14:35	O46	マウス洞房結節細胞におけるミトコンドリアー筋小胞体の構造的・機能的クロストーク解析 ○竹内 綾子、松岡 達 福井大学医学部・統合生理学
14:50	O47	ミトコンドリア Na^+-Ca^{2+}交換輸送体 NCLX による Bリンパ球細胞走化の調節 ○松岡 達 1、金 鳳柱 2、竹内 綾子 1 1、福井大学医学部・統合生理学 2、徳島大学・疾患プロテオゲノム研究センター
15:05	O48	腎尿細管における細胞間接着分子 claudin-2 発現に対する高浸透圧の影響 ○五十里彰 1、藤井尚子 1、遠藤智史 1、松永俊之 1、山崎泰広 2、山口賢彦 2、菅谷純子 2 1、岐阜薬科大学・薬学部・生化学 2、静岡県立大学・薬学部・生体情報分子解析学

15:20-15:30 休憩

大会2日目 11月8日(土)

13:30-17:30 テニス大会(同時開催)
名市大 滝子キャンパス テニスコート

15:30-16:45 セッション13 (O49~O53)

座長: 酒井秀紀(富山大学・医学薬学研究部(薬学)・薬物生理学)

山本喜通(名古屋市立大学看護学研究科生理学)

15:30	O49	KCNQ1/KCNE1 チャンネルを開きにくくしている分子メカニズム ○中條 浩一 1,2、久保 義弘 1,2 1、生理学研究所・神経機能素子 2、総研大・生理科学専攻
15:45	O50	脂質平面膜法を用いた TRP チャンネルの機能解析 ○内田 邦敏 1,2,3、Lusine Demirkhanyan1、富永 真琴 2,3、Eleonora Zakharian1 1. Department of Cancer Biology and Pharmacology · University of Illinois College of Medicine Peoria 2. 生理学研究所(岡崎統合バイオサイエンスセンター)・細胞生理研究部門 3. 総合研究大学院大学・生理科学専攻
16:00	O51	高濃度炭酸泉浸漬時の皮膚血管拡張と温度感覚上昇機序 —TRP チャンネルの関わり— ○西村直記、西村るみ子、岩瀬 敏、佐藤元彦 愛知医科大学 医学部 生理学講座
16:15	O52	容積感受性アニオンチャンネルの活性化におけるアクチンフィラメントの役割 ○清水 貴浩 1、大竹 宏尚 1、尾野 純也 1、藤井 拓人 1、岡田 泰伸 2、酒井 秀紀 1 1. 富山大学・医学薬学研究部(薬学)・薬物生理学 2. 総合研究大学院大学
16:30	O53	癌細胞膜マイクロドメインにおけるナトリウムポンプと容積感受性アニオンチャンネルとの機能連関 藤井拓人1、山本翔太1、清水貴浩1、竹島浩2、酒井秀紀1 1、富山大 大学院 薬物生理学 2、京都大 大学院 生体分子認識学分野

16:45-16:50 閉会挨拶